

題字 学長 シスター・メリー・ユー・ジュニア

昭和42年8月15日発行

編集責任者 山本 純子
漢 幸子発行者 ノートルダム
女子大学同窓会

印刷所 真美印刷株式会社



My dear Girls,

This will be a short note but it is filled with all the love I can extend to each and every one of you. You are always in my heart as I remember you each day in my prayer at the morning Sacrifice of the Mass.

Many of you have married and are now happy home makers with children who bring added joy. Keep in your heart and mind the noble ideals that were held out to you one, two, or more years ago. Make your home a place where husband and children gladly return after the day's work is over.

I know, too, of the noble work of charity which the alumnae has undertaken to help the needy and less privileged people. God will bless you abundantly for that.

School news comes to you from the students, I am sure. Have they told you that our next project is to construct a library building west of the present building? We are delayed in beginning construction because of finances.

If you know of any way to help, we would appreciate your suggestions. We hope to include an alumnae room in the new building.

Soon your ranks will be increased by the present graduates. With larger numbers you can do more good for others. Remain united for in union there is strength. God love and bless each of you always for

Your ever devoted,

Sister Mary Eugenia, S.S.N.D.

いづみ

(二)

心のゆとり

シスター・メリー・セリーン

世の中に まじわらぬとは、あ
らねども ひより遊びぞ われ
はまされる

良寛の短い三十一文字は、私が、日
頃の難題を極める生活の中で、何か
しら求むようと探していたもの（私
の心境とでもいまいしうか）を、
語ってくれている様に思います。朝
から晩まで、群衆の中の孤独を感
じ、机に向ってゆくり考えごとを
することすら遠い昔のことの様に思
えるこの頃、心のゆとりを持つこと
に悩みに似た感じを覚えるのでし
た。

そんな時、五月第一週の連休は、
孤独と静寂にひたれる機会と、外出
のプランを練りながら、外遊の
聞き流し、内心ひそかに期待の胸を
ふくらませておりました。ところが
連休第一日の五月三日、円通寺へ
行くことを決めた、これも「おこも
り」の一形式と四時頃から出かける
ことにしたのです。円通寺といえ
ば、二年程前、タクシーをよびて
五時過ぎにかけこむとして、門前
払いを受けたことを記憶していま
す。お寺の門前に立つて案内を乞う
私達を、冷く拒絶するがんと和尚さ
んの声が今でも耳に聞えます。しか
し考えてみれば拝観時間終了後に、
外人客があるからといって特別扱い
を期待した私達の方が、余程がんで
あったかも知れないのです。何ん
となく和尚さんにもう一度会ってみ
たいという好奇心にからたてられな
がら、久しぶりに登るわけわし（私
にとっては）道を思ひだして山門

では破れきった人間の様にみえるこ
の人は、禅寺の中では、寂しいこま
れる様に考え、しばらくの後、満腹
そうに、静かに立ち去って行きます。
一体、何の力がこの様に人間の
姿を変えるのでしょうか。「人間は
考える畜生である」という意味が、何
となくわかってくる様でした。時々
吹いてくるそよ風は、私の心の中の
なまめさや汚れを吹き飛ばし、清
々しい気分にしてくれました。
今までみていた比叡山は、頂上が
ややとがっていて美しいが、冷た
く響いている山でした。「比叡の八咫
」比叡おろし」等の冷たい印象があ
ったかも知れません。しかし、
今みる比叡山はきびしさや峻しさは
なく、とがっていた頂上はやわらか
い曲線を描き、裾野は、左右に長く
のびて、あたかも前手をひろげて暖

かくもこの子等をかばう母親の様
に静かにみえます。冬には、白い
わたがしをかぶる山を眺め、秋に
は、山端からぼる満月を眺めるの
は、いつの世にもあってもいつの時代
にあっても日本人の自然愛好心のあ
らわれだと思えます。人間の心をか
くまでとらえる大自然の力は実に神
秘なものでした。

私にかえった時、「ここは説明を
しないのがいいのじゃ。私の様な納
弁が下手な説明をするより、景色が
語るものを聞きなさい。後水尾天皇
は比叡の築山を非常に好みになっ
た。御堂で静かに祈っておられる
と、極の音が聞えたという。それ
で、あの御堂は海潮堂と名づけられ
た。この前庭は海で、石は島なの
だ」とほつりほつり言葉少くな
し、しかも確信にちみてる人がありま

した。思わず声の主の方をふりむく
と、あの和尚さんなのです。
私は何となくほっとした気持ちでは
あみながら会釈をしました。和尚さ
んも満足げにみえました。自然を愛
する心とは、ロマンティストのみ
が持つ感情ではなく、時代、人種等
の制限をうけることなく人間の心底
深く根ざしている情緒だと思いま
す。それにしても、この様に人間の
魂をとらえる自然を創り出した御者
の偉大さを感じずにはいられません
でした。私は、ひより遊びにすつ
かりみちたておりました。

卒業生の皆様、家庭に、職場に、
それぞれの立場で毎日忙しい日々を
過していらっしゃることをしよ、
忙しい中に「心のゆとり」をもつ
ことが出来るなら、毎日の生活はも
っと清いものになると思いま
す。一日の中、ほんのちよつとの
間、自分の住んでいる小さい世界か
ら目を自分以外の世界に向けてごら
んなさい。そこには、次の仕事をよ
りよくさせるインスピレーションが
あるものです。

偶感

素直ということ

第2回卒業

服部彩子

今年の一月頃だったと思うが、P
HP. という雑誌がその発行所に勤
務の同期卒業生、本田さんから送
られて来た。その雑誌の裏表紙には毎
月の雑誌発行の主旨ともいえるよ
うな、現代人のための指針や助言が
載せられていたが、その号の言葉は
「目問目答」であった。その時は何
の気なしに読みすしてしました。
ところが、二週間程前不調の整理を
して、他の英詩や小説の整理を
みていた時、ふとこの本の裏表紙
にある「目問目答」という言葉が目
に入った。動悸し出してから約一
年、仕事の内容や手順には慣れたも

のかえって緊張がとけ、あらため
て自分をみつめると何かの足りな
さを感じていた矢先で、何かしら非
常に大切なものを手に入れたよう
な気がした。

この間はこんな事があった。部長
が、学位論文にパスした教室の二人
の先生の父兄に祝電を打つよう言わ
れた。教授会の途中でタバコを届け
た時言われたのだが、午後五時をま
わったにいて、翌朝早く打とうと
そのまゝにいて、丁度他に行く所が
あり、そちらに行ってしまった。深
く考えずに判断を下した。翌朝その
うちの一人の父兄が尋ねて来られ

た。「パスの電報を打ったさうぞう」
という部長の声に私は冷汗が流れ
た。案の定、その人の前で激しく叱
られた。打つては打つたが、その日
の朝打つたで入れ違いになったの
である。いつも行く郵便局は閉って
いても電話電報という方法もあった
し、他にいくらかの所があってもそ
れは一方で責任をとってはいなかつ
た。ただの言い訳にすぎないのであ
る。ところが、残念な事に叱られた
時は次々とそのような言い訳が口
には出さなくとも頭の隅で渦巻いて
いたのである。とても自分を戒める
所ではなかつた。

しかしここで必要なのは「自己評
価し」「目問目答する」ことなので
ある。あらためてそのむつかしさを
知ったような気がした。

又、何事も無かつたから素直に進
んで来た自分はあたり前なのであつ
た。人に批判され、自己評価を迫ら
れた時自分に素直になり、正しい判
断を下す事がいかに大切かを考え
させられた。

年、仕事の内容や手順には慣れたも
と、素直な性質がいかにかつつかい

と、素直な性質がいかにかつつかい

と、素直な性質がいかにかつつかい

と、素直な性質がいかにかつつかい

と、素直な性質がいかにかつつかい

と、素直な性質がいかにかつつかい

と、素直な性質がいかにかつつかい

マリアン・サービス誕生

山本純子・森宗文子

紙面をかり、京都からマリアン・サービスについてお知らせ出来ず事を嬉しく思います。マリアン・サービスとは、国際会議にて、国際学会・会議開催中英語通訳者として参加する同窓会活動の一つです。マリアンは同窓会会報「The madian」から取ってあり、サービスとは、

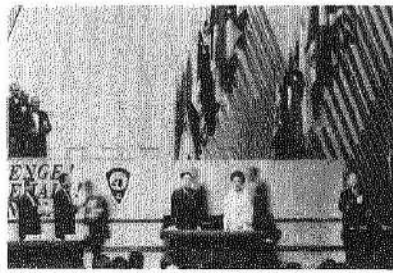
世界的視野に立って、人類の幸福のために心ばかりでも還元しようという趣旨を含んで、学長が命名して下さいました。

国立京都国際会館が宝ヶ池に隣接されて以来、国際会議・学会開催中、同時通訳者以外に英語通訳者が必要となり、会館の近くに母校を持ち、英語に重きを置く大学の卒業生として、国際会議というインターナショナルな環境の中で仕事をすることに、なんらかの意義を見つけた昨春より準備を整え活動して参りました。

全てが新しい経験だけに、手探りで四方八方に心を配りながら、開催前の準備を押し進めました。学生時代と違い、主催者が社会人だけに、少人数でその場で速断して行かなくてはならず、皆様の御意見を十分に入れる余裕がなく残念に思っております。会員の方々、大学当局、在校生、主催者、国際学会、学会参加者へ及ばず影響を何時も考え、開催に伴って起きる予想もしない出来事に対処して行くために、舞台裏の私達はおそく国際学会とは縁遠い事柄に右往左往し、心配の連続で開会中を過ごしておりました。そんな時、自然の中に浸った様に建つ

国際会館の事務所からの暮れ行く秋の宝ヶ池の眺めは、日本の自然美を深く沈潜させ、又雨にけがる春の眺めは、桜が美しく池の隅りを飾り、池をとりまく小山には緑の松に薄い牡丹色の山つつじが顔を出して、その静かな美しさは言葉にもいえず、一年間に四つの学会、会議に協力しましたが、何れもやりましてそれぞれ違った要素が含まれていて、そのつど説明し難い問題が起り、私達の不馴れと才能のなさから音聲には御迷惑をかけ、急な事態を処理するための心ならずも身勝手なお願いを致してしまいました。

こんな中にも楽しい事も随分ありました。学会開催中の昼食時は楽しいものです。久しぶりに逢う友達と話を花を咲かせます。学会専攻のラウンドバスに間に合う様に、卒業以来こんな早く起きた事はないわ、と言いつけながら走った朝、会議が終って外国の学者と共にも会議所を後にラウンドバスに乗ったなど。



マリアン・サービスの活動も一度二度と回を重ねる度に、社会人として成長して行かれる会員の姿を見て安堵し、楽しそうなお姿を見るのはこの上なく嬉しく、卒業してからも学生時代の様に、皆さんと一つの仕事を共にして行けたことを幸せと思っています。

今後は二年、三度春秋に開催される会議に協力して行く方針です。仕事の内容は色々で、語る力が非常に要求されるポジション、又それほど必要でないポジションと色々ですが、何れも人柄が大切かと思えます。

英語力はもちろん、日本について、の知識が必要との意見に、夏休みを利用して毎日曜日、日本の古典を中心に講習会を開きました。短時間しかなく表面的な事に終り、どれだけの成果があったかは疑問ですが、これに刺激されて各自で勉強して下さいと思います。



国際化時代に、ノートルダム女子大学の卒業生が共に手を取り合って、一つの事業を共に対処して行く事は意義ある事と思います。この活動が後輩の手で例え細くとも長く続けられて行く事を祈るばかりです。最後に、この一年間私達を支えて下さった全ての方に重ねてお礼を申し上げます。

一九六六年度
同窓会活動

五月

○同窓会活動計画立案

○能楽鑑賞会へ花束贈呈 ノートルダム女子大学主催 於親世会館

○マリアン・サービス誕生 活動計画立案

○マリアン・サービス講習会 準備

○マリアン・サービス講習会

○マリアン・サービス講習会

○マリアン・サービス講習会

○マリアン・サービス講習会

「華道について」中西京下先生
「日本の伝統」池坊文化学園教授
増田先生「外国人に対するマナー」表土家利上氏「コンパニオンの心え」京都国際会館秘書課長
湯浅敬子氏

九月
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名

十月
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名

十一月
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名

十二月
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名

一月
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名

二月
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名

三月
○第三回ノートルダム女子大学卒業
式へ列席
○新卒業生へ記念品贈呈 新卒業生
により卒業記念文集「櫻」が刊行
される事になり、その諸経費を負
担してお祝の印とした。

四月
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名

五月
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名

六月
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名

七月
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名

八月
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名

九月
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名
○マリアン・サービス活動 国際高
分テシシボニウム 於国際会館
参加延人数二百四十名

御協力をお願いします！
図書館建設資金(同窓会会報を含む)を集めるためにバザーを開催
日時 十一月三日・四日(大学祭中)
場所 母校ロビーにて
つきましては十月末日までに一口五〇〇円程度の手芸品及び装飾品を御寄附下さいます様、お願いいたします。

本年度活動予定
八月
○同窓会会報第二号発行
九月
○立川澄人、伊藤京子の夕
十一日(月) 午後六時三十分 学
生会主催 於 京都府第一ホー
ル

十一月
○大学祭 一日・二日
一日 午前九時 学長様の日(皆
様多数御参加下さいます様に)
三日 バザー(オープン・デー)
四日

十二月
○中旬 クリスマス料理講習会
シスター・メリー・テレサマザーが
レット指導 於 母校調理室

一月
○マリアン・スカラシップ授与者選
考
二月
○同窓会について新会員へ説明会

三月
○母校卒業式へ列席
○新卒業生へ記念品贈呈
○マリアン・サービス活動 未定

五月
○第四回同窓会総会



マイ・ベビー

思いがけないことに、紙面を通じて、皆様におしゃべりする機会を得て、非常に嬉しくペンをとりました。皆様、御機嫌よく、お読みしようか。

あの感激の卒業式から、はや一年半となりました。月日の早く経つのは、たゞ、驚くばかりです。一月に生まれた子供が、もうたいい歩きをするようになり、今迄の赤ちゃんという感じが、すっかり抜け、顔つき、しぐさが一辺に、子供っぽくなりました。毎日、子供一人に追い廻され、それは、もう大変なことです。この頃、目に見えて知恵が、じっとしてないのが気が付くではありません。台所で、食事の準備をしながら、あっち向き、こっち向きの姿勢を御想像下さい。涙は、生まれて半年目に、洗礼を受け、髪をヨセフと名付け、洗礼の日、何か記念になるものと、ささやかな気持ちから、幼きイエズスの御像を買ってやりました。涙がお腹の中にある時、盲腸の手術の為、メスを入れられても、ブルブルガタ／＼ふるえもせず、たくましく生きながらえただけあって、すばらしく発育のよい子供です。人見知りすることなく、誰にでも抱かれて平気な顔をしているので、少し位、ママのあとを追ってくるのがあって、もいいた、私の存在が無視されたかのようで、少しばかり、不満なのですが……。パパは医者なのでどうしても帰りが遅く、朝しか親子の対面が出来ないので、時々、早く帰った時には、涙が遊び相手を待たかのように、すぐさま後を追ってくるので、パパはうれい悲鳴をあげています。子供の機嫌のいい時には、自分達のおもちゃのようにして、楽しんでいますがどうにも手

のつけられないような時には、二人とも、さしを投げてしまいます。一日のうち、自分の時間となるのは、子供のお昼寝の時だけです。その時に欲ばって、あれもしたい、これもしたいと思っているうちに、ベッドの中でゴソゴソ音がしたらもうダメです。今、この原稿を書きながらも涙の気持がよさそう、寝いさを聞いている。自分の事を言われているの



だと思っ、顔を出さないのかもしれないね。

涙の一人歩き出来る日を羨ましくしつ、多忙な日々を過ぎております。まとまりのないものになってしまいましたが、手のかゝる子供がいるという事を、いいことにして、どうぞ、お許し下さいませ。

第一回卒業 中村由紀子

スイートホーム

— 嘉納公子 —

気 楽 な 家 庭

「ワアッすごいなア」これが彼と彼女のスイートホームである富雄田地を見たたんの第一声だった。この家は私達にとってこんなに大きな間地を見たのは初めてだった。お天気が良かったので五階建てのクリーム色の建物が何百と青空の下で眩しかった。そしてどの窓も色とりどりのふとんや洗濯物があふれていて、あまりにも同じ生活が一所に集まっているという印象だった。四十三号館にたどりつくまで階段の壁にマジックで、"We come out Home party. Host KEIJI Hosono KIMIKO"と書かれたポスターが貼られてあり、階段をヒールで上りながら五階まで登ると（五階はトップなのでユースタウンだそう）、手招きの上に赤いカーネーションが一本、私達を迎えてくれた。彼女の細い気ずかいがかわかれ、ドアを開く前くらいに奥さんになったアールと思った。

ペルを鳴らすとホステスのハムちゃんが腹に真紅の大きなバラをつけてニコニコ「ヤアーみんなよく来てく

会 員 消 息

よきおあさん

○第一回卒業

枝松真美 (中絶) 長女二才一

九月、次女一才

藤井勢津子 (松原) 九月ベビー誕

生予定

平波友恵 景子ちゃん三

才 有理想ちゃん 有理想ちゃん

一才 美穂子ちゃん

平田理子

五十嵐園子 (谷口) ベビー二才

川瀬典子 (金村) 裕ちゃん二才

川口利枝 (松原) 剛史ちゃん一

年六才

小堀裕子 裕子ちゃん十

一才

久保田倫子 九月ベビー誕

生予定

三原真幸 (栗野) 一雄ちゃん六

才

南若江 (西脇) 幸雄ちゃん二

才

諸石安見子 ベビー九才

齋藤 均ちゃん四才

板上麗代 (森岡) 文美ちゃん一

才

田村登子 (畠田) 七月ベビー誕

生予定

白井君子 (高田) 太郎ちゃん四

才

菅井節子 (藤井) ベビー九才

山本秀子 山本秀子

吉田初枝 道代ちゃん十

一才

所明子 十真ちゃん十

一才

○第二回卒業

稲塚悦子 (三宅) ベビー一年

磯田十鶴子 (前田) 八月ベビー誕

生予定

塩見雅子 (仲野) 恵ちゃん四才

富田裕子 九月ベビー誕

生予定

辻百合子 (若越) ベビー九才

才

およめさん

○第一回卒業

朝倉彩子 (湯川) 昨年十一月結婚、新家比佐子 (松田) 一月、稲

荷久美子 (遠山) 昨年十二月、石

原圭子 (堀江) 川原恭子 (渡

部)、木島佐和子八月、岸本順子

(打田) 四月小夫家子 (太田)

古村伸子 (松井) 久保真澄三才

坂田由紀子五月、笠木雅子 (重見)

須藤節子 (須藤) 三月、谷川敦子

(前田) 四月、吉川久美 (岡本) 三

月、谷田部サト (一重) 六月

○第二回卒業

伊達紀美子 (桂) 四月、長谷川ま

ゆみ (牧) 昨年六月、久末菊子

(今井) 昨年十月、池上信子 (木

村) 四月、市川三枝子 (中村) 二

月森村知子 (西村) 昨年四月、南

井恭子 (樋口) 五月、宮地家子

(多田) 四月、中村明子 (川島)

十二月、大根静英 (藤田) 三月重

松清子 (藤野) 三月、武田美智子

(山重) 八月、吉村孝子 (富沢)

昨年十一月

○第三回卒業

小泉 (小泉) 五月、村岡 (城山)

三月

○第一回卒業

長谷川子 (富山種苗 KK) 興水

子 (新阪急ホテル) 岡坂泉 (京大

理学部発生学研究室) 外村弓子

(母校) 辻順子 (ND女学院) 渡

辺裕子 (京大法政学部部長室) シス

ター・アイリーン (四日市精華児

施設)

○第二回卒業

芳谷千鶴子 (京大理学部動物学教

室) 林信美 (母校) 井口素子 (鈴

鹿高校) 井上初代 (日本ナシナ

LD金銭登録 KK) 川田高子 (ND

女学院) 森田礼子 (高千穂交 K

K) 中村喜美 (奈良県立) 西河邦

子 (国際観光光振興会) 杉本瑠子

(京大工学部原子燃料研究室) 竹

村靖子 (洛陽女子高校) 谷出和子

(東京阪急「タカコ」) 吉名

春子 (ND女学院) 梅原英 YB

U) 渡辺久枝 (母校) 渡辺淑子

(聖ウルスラ学院) 山崎敬子 Y

B.U.)

○第三回卒業

土肥和子 (農学研究) 榎子田栄子

YBU) 浜口和子 (双南病院)

奥野順子 (大阪大蛋白質研究所) 広

谷美智子 (富士銀行) 入江泰子

(聖ヨゼフ看護園) 伊藤野子 母

校 伊東玉 (Kyoo Hand-Craft

Center) 四井富美子 (三洋電機)

長野恵里 (西宮友の会幼児生活

園) 長田美美子 (同上) 中島充恵

(母校) 根本孝子 (京大医学部解

剖学教室) 西村真紀 (国際ロータ

リー第三六五区ガバナ事務所)

岡本恭子 (母校) 大下恭子 三井

生恵 田中 (同上) 大村文乃

(母校) 高橋奈津子 (京大文学部)

竹田尚代 (京西光事務局) 柳川万

紗子 (ヤマハ音楽教室)

勉学中心の人

○第一回卒業

長谷川克子 川村みづほ (米園留

学)

○第二回卒業

菊池貴美子 (奈良女子大修士課程

在籍)

○第三回卒業

中田比佐、浅田裕子 (Columbia

ミミ留学)

中村二根子 (同志社大学修士課程

在籍)

その他の方々はそれぞれお稽古に励

んだり TEACHING をしながら

家事見習いを毎日元気に送ってい

らっしゃるの事。

死去

第三回卒業 金恵利さん

謹んで御冥福をお祈りい

たします。

ふるさとのこと

「尾道」 西岡道子

海が見えた。
海が見える。
五年振りに見る、尾道の海はなつかしい。汽車が尾道へさしかかる、焼けた小さい町の屋根が提灯のやうに、揺がて来る。
赤い干光寺の塔が見える。
山は爽やかな若葉に。
緑色の海、向うにドックの赤い船、帆柱を空に突きさしてゐる。
私は涙があふれてゐた。

林美英子著 放浪記より
この一節を讀むたびに、わたしは心を打たれしむとした気持ちにさせられます。恐らく、尾道をふるさとして持つ誰もが、共感を覚えるのではないでしようか。多くの美しい島々に彩られた瀬戸海の中心部、ちょうど岡山と広島の間、そして中国山脈が海辺に迫った所、そこに、わ

社会と違つたというのは、学校は「生活」から自由であり、全から自由な。個の世界だからではないでしようか。個の世界の深化しての場が学校のように思われます。それは必要なことです。決していかげんなものでもない。ところがそれが学生であることを終えると同時に、我々は好むと好まざるにかかわらず、全、とのかわりに生きる。個、という場を持つ代りに、全、との関係の場を持つ。会社に勤めておれりとした社会人にならうと、無職で居よう、又は結婚しようとし、まいと無名で居よう、これが許されません。そして誰もがその場でどんな意味に於いてであらうと働かねばなりません。私が非常に驚いたのはこの「生活」誰もがもれなく働いてゐる。消費電車に乗って、仕事、会社で、毎日、個、が、全、のなんてことを誰か言ひもしません。

突然私はマダムに課せられた汗しで働かねばならないという人間の課

べしのあるさ。尾道があります。千二百年もの古い歴史を持つ、この町は、山陽路であると同時に、内海航路、そして四國への要衝の地であり、その港は、出船、入船にあけられてゐます。海運の発達で、造船業の発展へと進み、日立造船を始め、多くのドックが、市街に響く。汽笛と共に、印象的な町です。正に尾道は、海によって起り、船によって来た町、といつてよいでしょう。

しかし、何と言つても、奈良、平家時代の文化と芸術に恵まれたこの町は、文学的な、情緒豊かな所にこそ、その奥深い魅力が、秘められてゐるのではないかと、わたしは感じます。西の奈良と書かれる程、この町の山手に、歴史的古刹や日塔が並び、古美術と伝説が多数残されてゐます。中でも有名な、

その後

運と情命を見る気がします。統一も妙心も方向さえないように見えまふ。だがこの全とのかわりに参与と続けねばならない。この人間をか立ててゆく絶対的なものに力。これは何かのユニティに人間を引込んで行つてゐるのかも知れません。この、全、から自由の生きる場と、全、に向つた働く場がシ

マターや教授方の言われてた学校と社会の違ひではないでしようか。言ひは生きているといふことがこの生活の軌道の場で実践されるということではないでしようか。ただこの場を占めないといふことは例外者にも不可能なこと

恐しい訳ではありません。このたぐいましき、この無頼者、この切実

とを授業の後、提案すると、生徒達の間に賛成の拍手がおこつた。早速、八名ほど役員を選び、放課後相談をはじけると、明日にでも山頂のような興奮した楽しい空想、気となり、私もいつのまにかそこにまきこまれてしまつた。Sailing Up for Summer というタイトルで、半分はど歌の入った、楽しい子供劇である。タイプ、印刷、舞台、衣裳、キャスト、各々仕事に分担がきまると、突然一先生、脚本は出さないのですか」と質問された。脚本までは考えていなかったが、これはおもしろいかも知れないと思つて、「もし時間的に余裕があるのなら、有志をつつて日本語の脚本をつくりなさい。先生は一切タッチしませんから、自分達だけでやってみなさい」と言ふと、「とにかくやってみます」とい



うことになって、はりきつて帰つて行つた。これから約一カ月半生徒達の手でどこまでできるか、気を長くして待つてみるつもりである。

放課後をす通りして、シスター・クレマンズと共に、シスターの修道会が経営している聖ウルマラ学院にきて、教壇に立つてから、まだ、わずか半年、しかし、この半年間、ずい分と色々な経験をしたような気がする。決して、うきうきした楽しい毎日ばかりではなく、体がのびてしまふほど疲れて、自分の勉強する時間など全くない忙しい毎日である。けれども、生徒達に、英語を、宗教を教えるが、又クラブで一緒に運動をしなが、教職のすばらしさを教壇に立つ前にも増して、なお一層強く味わつてゐる。これから伸びていく

とを授業の後、提案すると、生徒達の間に賛成の拍手がおこつた。早速、八名ほど役員を選び、放課後相談をはじけると、明日にでも山頂のような興奮した楽しい空想、気となり、私もいつのまにかそこにまきこまれてしまつた。Sailing Up for Summer というタイトルで、半分はど歌の入った、楽しい子供劇である。タイプ、印刷、舞台、衣裳、キャスト、各々仕事に分担がきまると、突然一先生、脚本は出さないのですか」と質問された。脚本までは考えていなかったが、これはおもしろいかも知れないと思つて、「もし時間的に余裕があるのなら、有志をつつて日本語の脚本をつくりなさい。先生は一切タッチしませんから、自分達だけでやってみなさい」と言ふと、「とにかくやってみます」とい

編集後記

省を育てていくという生命感にあふれた喜びなのかと思う。

第二回卒業 渡辺淑子

「お願い」

四日市市にノートルダム会、計四の精神薄弱児童施設設立される。

尚、資金困難ですので、社会福祉の一端として何らかの援助をお願いいたします。(現金、物品、労働奉仕など)

井原、伊達、瑞川、山口、苗村、福田、田村、藤野